

今年の占いは？

逢坂八幡神社・管粥神事

逢坂八幡神社（松河原）の「管粥神事」。この神事は、江戸時代から約270年続く伝統行事です。

旧暦の1月15日にあたる、2月24日（日）に「管粥神事」が今年も行われ、各集落から持ちよった白米と印が付けた24本の竹筒を鉄鍋で煮て、筒の中に入った粥の量で、その年の農水産物の豊凶を占

いました。占いは粥の量が多いほど豊作とされています。金田吉人総代長をはじめとする各集落の総代ら10人が見守る中、竹筒が半分に割られ、



▲竹筒を入れたあとに米を入れます



▲粥の詰まり具合を確かめます

粥の詰まり具合を太田貴能禰ね宜ぎが確認しました。この結果、今年は大山町の特産でもある梨や白ネギは「十分」、ブロッコリーは「五分」、農水産物全般を占う「大年」は「五分」というお告げでした。

金田総代長は「全体的にはいい数字。気を引き締めて努力せよというお告げだと思ふ」と話されました。

祭典後は、鍋に残った粥が振舞われました。この粥は、食すると無病息災のおかげがあると伝えられています。

自衛官誕生！

2月27日（水）、「自衛隊入隊者を激励する会」が役場本庁で行われました。大山町から、この春、大山町から入隊されるのは5人。関雄樹さん（赤松）、野口正志さん（殿河内）、仲川将太さん（御来屋）、河端琢也さん（御崎）、倉田太浩さん（御来屋）です。

式では、代表して関さんが「苦しいときやつらいときもあると思うが、激励会でいただいた言葉を思い出しがんばりたい。立派な自衛官になります」と決意を述べられました。5人のみなさんの活躍を期待しています。



▲写真左から関さん、野口さん、仲川さん

早春シャンソンショー（笑）

～男女共同参画の思いをのせて～

3月9日（土）、人権交流センターで「早春シャンソンショー（笑）～男女共同参画の思いをのせて～」と題して男女共同参画講座を行いました。

湯梨浜町在住のシャンソン

歌手柳井沙羅さんをお迎えし、「バラ色の人生」など心に響く素晴らしい歌とともに、「男だから、女だから」ということに縛られず、自分らしく輝いて」と、男女共同参

画の思いを語っていただきました

した。

会場には、約70人の皆さんが参加。参加者からは、「とても楽しくて、内容もわかりやすかった」「歌もトークも最高でした」「男性の参加者が少なかったのが残念」「今後楽しく啓発してください」など、たくさん感想をいただきました。

柳井さんの楽しいトークと歌に時間が経つのを忘れるほど引き込まれ、一人ひとりの笑顔が輝く、スマイル満開の会となりました。

▶柳井さんのお話と歌に酔いしれました

